

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所等)

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人コミュニケア街ねっと
所 在 地	千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7
評価実施期間	令和3年11月25日～令和4年4月12日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	子どものまきば保育園 コドモノマキバホイクエン		
所 在 地	〒267-0066 千葉市緑区あすみが丘1丁目17-5 2F		
交通手段	JR土気駅徒歩5分		
電 話	043-295-3349	FAX	043-294-2172
ホームページ	kodomo-makiba.com		
経 営 法 人	ジェー・エス・テー株式会社		
開設年月日	令和元年6月1日		
併設しているサービス			

(2) サービス内容

対象地域									
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	3	5	5	5	6	6	30		
敷地面積	m ²			保育面積		199.7m ²			
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	年2回の健康診断(内科・歯科)								
食 事	給食自家調理								
利用時間	7:00~18:00								
休 日	日・祝・年末年始(12/29~1/3)								
地域との交流									
保護者会活動									

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	8	9	17	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	10			
	保健師	調理師	その他専門職員	
		1		

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	千葉市緑区子ども家庭課一任		
申請窓口開設時間	見学申し込みに随時対応		
申請時注意事項			
サービス決定までの時間			
入所相談			
利用代金			
食事代金			
苦情対応	窓口設置	あり	
	第三者委員の設置	あり	

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>保育目標 ①健康で明るい子ども ②自ら考え行動出来る子ども ③優しい心と思いやりのある子ども</p>
<p>特 徴</p>	<p>百玉そろばんと漢字かな交じり絵本の導入</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>園は一つの大家族の思いで運営しているため、家庭的な温かい雰囲気 の保育園です。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
家庭的な温かい雰囲気大切に保育に取り組んでいる
園は大家族であるとの思いで運営し、子ども本位の保育に取り組んでいる。少人数の園であり、家庭的な雰囲気を大切にして、2歳児以上は異年齢保育をおこなっている。遊びや散歩などでは、大きい子が世話をしたり手を繋ぐなど、年上としての自覚が芽生えたり、小さい子は興味や関心の幅が広がることにつながっている。また、自由時間には、子どもが好きな玩具を取り出し遊ぶことができるようにするなど、主体的に活動できる環境を整えている。保護者アンケートでは、「家庭のように接してもらっている」等のコメントが見られた。
特徴的な保育で知識や能力の基礎を育んでいる
朝の会では、漢字かな交じりの絵本や百玉そろばんを使い、子どもの読解力・思考力や数の概念などが育つように取り組んでいる。絵本は、読める喜びと読めた達成感が味わえる取り組みとなっている。また、百玉そろばんでは、数を視覚的・聴覚的にとらえる力を育てている。また、集団で活動することで、協調性や忍耐力を養うことにつながっている。園は特徴的な保育で知識や能力の基礎を育んでいる。
身近な自然に接する機会をつくり、興味や関心が広がるよう援助している。
天気の良い日は公園まで散歩に出かけ、自然と触れあったり、地域の人たちと挨拶をしている。また、園のバスを利用して園所有の「冒険ひろば」に出かけ、自然に関われるようしている。園外保育では、風や日差し・虫・セミ・どんぐり・落ち葉など、四季の移り変わりを通して、子どもたちが変化に気付いたり発見したりすることで、興味や関心が広がるよう援助している。保護者アンケートでも、「冒険広場で遊ぶのが楽しいようだ」とのコメントが複数あった。
さらに取り組みが望まれるところ
大きな災害に備えた訓練を定期的実施することが望まれる
災害時に通報する機関や職員の役割分担などを整備し、火災・地震など想定した避難訓練を毎月実施している。今後は、大きな自然災害(台風・集中豪雨・暴風など)に備え、保護者参加の引き渡し訓練や、安否確認訓練、避難場所までの移動訓練等が望まれる。また、消防署の協力を得ながらの通報・連絡訓練なども期待したい。
自己評価で園の課題を抽出し、改善につなげることが望まれる
現状の園の課題については、経営会議で話し合っている。教育及び保育の質について自己評価を定期的におこない、園の課題を見出して職員と共通理解を図りながら、改善に向けて取り組むことが望まれる。
事故とヒヤリハットの区分を明瞭化し、記録することが期待される
事故やヒヤリハットは記録に残し、会議において状況説明や改善策などの共有を図っている。事故やヒヤリハットは区分を明瞭化するとともに、ヒヤリハットの記録用紙を簡素にして、報告しやすい書式にしてもよいと思われる。多くの情報を収集し検討することが、重大事故の防止につながると思われる。
(評価を受けて、受審事業者の取組み)
大半の保護者の方に満足して頂けているという結果を聞き、大変嬉しく思います。今後も園はひとつの大家族という思いを忘れず、家庭で過ごしているような温かい保育を実施していきたいと思っております。指摘して頂いた点は、ひとつひとつ職員と話し合い、改善しより良い保育園を目指していきたいと思っております。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目		
				■実施数	□未実施数	
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	1 理念・基本方針の確立	1 理念や基本方針が明文化されている。	3	0
			2 理念・基本方針の周知	2 理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	3	0
				3 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0
		2 計画の策定	事業計画と重要課題の明確化	4 事業計画が適切に策定され、計画達成のため組織的に取り組んでいる。	1	5
			計画の適正な策定	5 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	2	1
		3 管理者の責任とリーダーシップ	管理者のリーダーシップ	6 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組みに取り組み指導力を発揮している。	4	1
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	7 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	1	2
				8 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	1	3
			職員の就業への配慮	9 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	5	0
			職員の質の向上への体制整備	10 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	1	4
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	11 施設の全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	1	
			12 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	2	2	
			13 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	3	1	
			14 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	3	1	
		2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	15 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上に努めている。	0	3
			提供する保育の標準化	16 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	1	3
		3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	17 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	1	1
				18 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0
		4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	19 保育所等の理念や保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	3	1
				20 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	4	1
				21 子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。	5	1
				22 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	3	1
				23 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6	0
				24 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	3	3
				25 在園時間の異なる子どもに対して配慮がなされている。	4	0
				26 家庭及び関係機関との連携が十分図られている。	2	1
		5 安全管理	子どもの健康支援	27 子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	4	0
				28 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	3	0
				29 食育の推進に努めている。	5	0
6 地域	食育の推進	30 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0		
		31 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	2	2		
		32 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	1	4		
		地域子育て支援	33 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	1	4	
計				90	46	

保育所等 項目別評価コメント

(利用者は子ども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。 ■理念・基本方針から、法人、保育所等が実施する教育及び保育の内容や法人、保育所等の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 ■理念・基本方針には、児童福祉法や保育所保育指針の保育所等・教育及び保育に関する基本原則が盛り込まれている。 <p>(評価コメント) 保育理念や保育目標をパンフレットやホームページ、事業計画書、園概要等に載せている。理念は「子どもの人格を尊重し最善の利益を守り、心身ともに健やかに育てる」と謳い、児童福祉法の基本原則を盛り込み、保育目標は、「健康で明るい子ども」、「自ら考え行動する子ども」等を明示しており、園の保育の考え方を読み取ることができる。</p>
2 理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。 ■理念・方針を会議や研修において取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。 ■理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。 <p>(評価コメント) 入職時には、園の目指している保育や大切にしている考え等を伝えている。職員休憩室にも保育目標を掲示している。全体的な計画にも保育理念や保育方針、保育目標を載せ、意識づけを図っている。実践面は職員会議で話し合っており、子ども一人ひとりに対して園の保育ができていないか確認している。</p>
3 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■契約時等に理念・方針が理解し易い資料を作成し、分かり易い説明をしている。 ■理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。 ■理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。 <p>(評価コメント) 利用を希望する保護者が園見学をする際は、パンフレットを用いて保育目標や保育内容を説明している。パンフレットは三つ折りで、園の一日や年間行事等の写真を入れて分かりやすく作成している。入園後は保育参観などで実際の保育を見てもらっている。日々の保育実践は毎月の園だよりや、個別には連絡帳等や受け渡し時に伝えている。</p>
4 事業計画が適切に策定され、計画達成のため組織的に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。 <input type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 理念・基本方針より重要課題が明確にされている。 <input type="checkbox"/> 事業環境の分析から重要課題が明確にされている。 <input type="checkbox"/> 現状の反省から重要課題が明確にされている。 ■運営の透明性の確保に取り組んでいる。 <p>(評価コメント) 単年度の事業計画を策定しており、健康管理や給食、行事計画等が盛り込まれている。単年度の事業計画は中長期計画を踏まえて作成すること、現状等を分析して園として力を入れて取り組むことを、重要課題として明記することが促される。</p>
5 事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ■各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。 ■方針や計画、課題は会議や研修会等にて説明し、全職員に周知されている。 <input type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。 <p>(評価コメント) 事業計画の策定にあたっては、職員意見を踏まえ、施設長、園長、主任等による経営会議で話し合っており、事業計画を会議等の場で職員に説明したり、計画を推進する仕組みを作っており取り組むことが望まれる。</p>
6 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組む取り組み指導力を発揮している。	<ul style="list-style-type: none"> ■理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。 ■職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生れ易い職場づくりをしている。 ■研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。 ■職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。 <input type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。 <p>(評価コメント) 日々の保育実践は、朝の会や職員会議、経営会議等で問題点を把握し、改善に向けて取り組んでいる。研修は外部研修が中心であるが、希望する職員や必要とする職員を派遣している。また、職員に気持ちよく働いてもらうため、処遇を含め職場環境を整えており、結果として意欲の向上につながっている。園は勤務年数の長い職員も多く、人間関係も良好である。</p>

7	全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。 <input type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を実施し、周知を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方を職員に周知を図っている。
(評価コメント) 職員として遵守すべきことは、就業規則の服務規程に記載されている。また、児童憲章や保育士倫理綱領を休憩室に掲示している。保護者には、守秘義務や個人情報の取り扱いについて、入園時に説明している。なお、法令遵守と倫理に関する研修や、個人情報保護方針等の規定の明文化が期待される。		
8	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保を図られている。 <input type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
(評価コメント) 組織図を作成し、職員の職務や担当を明確にしている。人事考課は実施していないが、人材育成のために、園として必要とする職員像の明文化が望まれる。		
9	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
(評価コメント) 管理者は職員の就業状況を把握しており、月に1回以上の有給休暇取得を促し、時間外勤務はないようにしている。育児休暇を取得しているの職員もいる。職員からの相談等は園長や主任が話を聞いている。健康対策として、健康診断の実施やインフルエンザの予防接種の補助をしている。また、園は福利厚生センターに加入しており、職員はさまざまなサービスが受けられる。働きやすい職場環境をつくり、職員の意欲の向上につなげている。		
10	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント) 職員は、希望する研修や業務に関連する外部研修を受講している。新人職員は園長がOJTで指導したり、絵本の勉強法のセミナー等に参加を促している。また、職員会議時にテーマを決めて勉強会をしている。今後はさらに、職員一人ひとりの目標を明確にして育成を図ることも期待したい。		
11	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input type="checkbox"/> 子供の尊重や基本的人権への配慮について勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視など行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント) 理念は「子どもの人格を尊重し最善の利益を守る」を掲げており、子どもを尊重した保育に努めている。日々の保育では、言葉かけに注意し、無理強いをしていない。子どもへの気になる関わりが見られた場合は、後で園長が保育士と話をしている。なお、子どもとの関わりについては、セルフチェックを定期的におこない、職員が振り返る機会を設けることも望まれる。		
12	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に研修等により周知徹底している。
(評価コメント) 就業規則には、不利益になることを外部に漏らさないことを記載している。また、守秘義務、個人情報の取り扱いに関する事項は重要事項説明書に記載し、保護者や職員に説明している。写真のホームページ等への掲載についても書面で保護者の同意を得ている。個人情報の保護に関する方針は明文化し、ホームページ等に掲載することも望まれる。		
13	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情が言いやすい雰囲気を作っている。 <input type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント) 日々の送迎時のコミュニケーションや連絡帳などで保護者の意向の把握に努めている。運動会や卒園式(発表会)は保護者も参加しており、感想等を聞いている。また、問題があれば家庭訪問をして話を聞いている。保護者アンケートでは、回答者の94%が保育士や園長に気軽に相談しやすいと、答えるなど、相談しやすい環境となっていることがうかがえる。		

14	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 ■相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 ■相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 □保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント) 重要事項説明書には、要望・相談及び苦情の受付について記載し、窓口担当者や苦情解決責任者及び第三者委員の氏名や電話番号を載せて、入園時に保護者に説明している。マニュアルが整備されており、意見や苦情が寄せられた場合は経営会議で話し合い、解決を図っている。		
15	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> □教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 □教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 □自己評価や第三者評価の結果を公表し、保護者や地域に対して社会的責任を果たしている。
(評価コメント) 過去には自己評価をおこない、保育の質の向上に取り組んでいた。現状の課題については経営会議で話し合っている。なお、教育及び保育の質について定期的に自己評価をおこない、園の課題を見出して、職員と共通理解を図りながら改善に向けて取り組むことが促される。		
16	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ■業務の基本や手順が明確になっている。 □分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 □マニュアル見直しを定期的に行っている。 □マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント) 早番や遅番等の業務マニュアルや、おむつ交換の仕方、朝の会の手順等を作成している。今後は、提供する保育の標準的実施方法のマニュアル等をさらに整備し、基本的な事は、誰でも同じ手順でできるようにする事が期待される。		
17	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<ul style="list-style-type: none"> □問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。 ■問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント) 問い合わせや見学は園長が対応し、パンフレットを用いて保育目標や保育内容を説明している。また、見学時はできるだけ時間を取り、話しやすい雰囲気をつくるようにして、ニーズに応じた説明をしている。なお、問い合わせや見学に対応することは、ホームページ等に載せることも望まれる。		
18	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> ■教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。 ■説明や資料は保護者に分かり易いように工夫している。 ■説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。 ■教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント) 入園が決まった際には、個別に入園説明会をおこない、パンフレットや重要事項説明書等で園の概要や保育方針を説明し、同意を得ている。また、アレルギー等の個別の事情は個人記録に残し、対応するようにしている。パンフレットは、三つ折りで写真を取り入れた分かりやすい仕様となっている。		
19	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。 ■全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。 □子どもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。 ■施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント) 全体的な計画は、保育所保育指針等に基づき園長が職員と相談してまとめている。保育内容は、教育・保育目標を踏まえ、養護と教育、食育に分け年齢別に展開している。1歳児からは5領域の教育内容を示し、指導計画に繋がるようにしている。		

20	<p>全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体的な計画に基づき、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。 ■ 乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。 ■ 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。 □ ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。 ■ 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
<p>(評価コメント) 全体的な計画に基づいて、年間指導計画は養護・教育と各領域を考慮して4期に分けて作成し、子どもの実態や日々の成長を踏まえながら見直しをしている。月間指導計画は月末に振り返り、次月に向けて課題を見出し取り組むことにしている。なお、子どもの主な活動と保育士の援助・配慮などは、具体的に盛り込むと更によいと思われる。</p>		
21	<p>子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもが安心感と信頼感をもって活動できるよう、子どもの主体としての思いや願いを受け止めている。 ■ 子どもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 □ 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 ■ 好きな遊びができる場所が用意されている。 ■ 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。 ■ 教育及び保育者は、子どもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
<p>(評価コメント) 朝の会では、漢字かな交じりの絵本や百玉そろばんを使い、子どもの思考力や数の概念などが育つように取り組んでいる。各年齢や発達に応じて子どもが遊び込める環境としており、未満児室では子どもの目線に玩具・絵本を置き、自分から進んで自由に取り出せるようにしている。3歳以上児室は、ままごと・絵本・ブロック遊びはコーナーを設けて、子どもの好きな遊びができるようにしている。縦割り保育の年齢別の活動の内容においては、子どもが素材や用具などで自由に遊びが展開できるよう、環境の工夫が望まれる。</p>		
22	<p>身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。 ■ 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 □ 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 ■ 季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
<p>(評価コメント) 天気の良い日は公園まで散歩に出かけ、自然と触れあったり、地域の人たちと挨拶するなどの機会をつくっている。園のバスで園所有の「冒険ひろば」まで出かけ、自然の中で遊ぶ時間をつくっている。風や日差し・虫・セミ・どんぐり・落ち葉など、四季を通して、子どもたちが変化に気付いたり発見したりすることで、興味や関心が広がるよう援助している。</p>		
23	<p>遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 ■ けんかやトラブルが発生した場合、危険のないように注意しながら、子供達同士で解決するように援助している。 ■ 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 ■ 子どもが役割を果せるような取組みが行われている。 ■ 子どもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 ■ 異年齢の子どもの交流が行われている。
<p>(評価コメント) けんかやトラブルがあった場合は、年齢や発達に応じて、危険がないように見守りや適切な言葉かけで、一人ひとりの思いを受け止めるようにしている。時には、職員が代弁をしながら、仲立ちしている。散歩では年中や年長の子どもが小さい子の手をつなぎ、道路脇に出ないように手を持ち替えるなど、子どもたちが自然にしたの子どもの面倒を見ることができるよう援助している。</p>		
24	<p>特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子ども同士の関わりに対して配慮している。 ■ 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 ■ 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 □ 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 □ 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 □ 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント) 現在、該当する子どもはいないが、気になる子どもの個別の指導計画は全職員で共有を図り、好きな遊びができるように全体で見守る体制を整えている。子どもの発達支援の更なる取り組みとして、外部の障害保育に関する研修や勉強会の機会を提供し、職員の専門知識の向上を支援することが期待される。</p>		
25	<p>在園時間の異なる子どもに対して配慮がなされている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 引き継ぎは書面で行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 ■ 担当職員の研修が行われている。 ■ 子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 ■ 年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント) 延長保育の希望はあまり多くないが、利用する子どもがいる場合は、引継ぎノートを活用し、職員の申し送りを適切におこなうようにしている。延長保育は寛いで過ごせるよう配慮し、子どもに寄り添い、家庭的な雰囲気の中でゆったりと関わられるようにしている。</p>		

26	家庭及び関係機関との連携が十分図られている。	<ul style="list-style-type: none"> ■一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、子どもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 □保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 ■就学に向けて、保育所等の子どもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図るとともに、子どもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。
(評価コメント)保護者とは、連絡帳やバスでの送迎時に情報を共有している。また、保育参観、個人面談などで子どもの成長の様子を共有し、内容は児童票などに記録している。就学に向けて学校と連携しており、近隣の小学校を借りて卒園式をおこなったり、保育所児童保育要録は保護者の了解のもと、小学校へ持参している。		
27	子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等の把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 ■保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録している。 ■職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者にたいして必要な情報を提供している。 ■子どもの心身の状態を観察し、不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
(評価コメント)定期的な健康診断や歯科検診や身長・体重測定を実施し、記録している。身長・体重測定の結果は連絡帳で保護者に知らせている。0歳児から2歳児まではプレチェックをして、乳幼児突然死症候群の予防をしている。子どもの心身の状況から家庭で不適切な関りが疑われる場合は、園長に報告し、経過観察をおこなうようにしている。		
28	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ■教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 ■感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 ■子どもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)保育中に体調不良、ケガ・事故等が発生した場合は、保護者に連絡するとともに、子どもの状況によっては医療機関を受診するなど適切に対応している。感染症については、発生状況を玄関に掲示したり、メールや手紙で掲載するなどして注意喚起や情報提供をしている。医薬品は常備して、定期的に点検をしたり、感染症予防として嘔吐処理セットを各保育室に備えている。		
29	食育の推進に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ■食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 ■子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。 ■体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 ■食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 ■残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)子どもが食べ物に興味を持てるように、近隣の畑でジャガイモやサツマイモ堀りをするなど、食物に触れる機会をつくっている。調理員は子どもの食べている様子を見たり、給食室の窓越しで話すなど、子どもと関わりを持っている。食物アレルギー児の対応は、顔写真とアレルギー内容を事務所内と調理室前のボードで、誰でも確認できる場所に掲示し、安全に提供できるようにしている。今後は、プランター等で野菜や草花を育てるなどの取り組みも期待される。		
30	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。 ■子ども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。 ■室内外の整理、整頓がされ、子どもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)各クラスには温度計や湿度計を設置して、適切な環境調整をおこなっている。また、空気清浄機を設置するとともに、適宜換気をしたり、トイレの手拭きはペーパータオルにするなど、感染対策に努めている。玩具や室内などは消毒液で拭き取るなど衛生管理に努めている。また、毎日、安全チェックリストを用いて点検をして、安全対策に取り組んでいる。		

31	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 <input type="checkbox"/> 危険箇所点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント) 事故やヒヤリハットを収集し、職員会議で内容を共有して、改善策の共通理解を図っている。園内外の設備や遊具などの安全点検は定期的におこない、安全対策に取り組んでいる。今後は事故発生時の対応マニュアルを整備したり、事故とヒヤリハットの区分を明瞭化するとともに、ヒヤリハットの記録用紙を簡素にして、報告しやすい書式にしてもよいと思われる。ヒヤリハットが多く集まることが、重大事故防止につながると思われる。		
32	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input type="checkbox"/> 地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に避難訓練を実施している。 <input type="checkbox"/> 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。 <input type="checkbox"/> 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。 <input type="checkbox"/> 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント) 災害時に通報する機関や役割分担などを明文化し、火災・地震など想定した避難訓練を毎月実施している。更に災害対策マニュアルを整備し、風水害や保護者引き渡し訓練・安否確認など、様々な状況を想定した訓練を実施することが望まれる。		
33	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育てニーズを把握している。 <input type="checkbox"/> 子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。 <input type="checkbox"/> 子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。 <input type="checkbox"/> 地域の子育て支援に関する情報を提供している。 <input type="checkbox"/> 子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント) コロナ禍において、地域の子育て支援活動が難しい状況になっている。地域の子育て世帯への支援として、園が所有している自然豊かな「冒険広場」の開放や、園の特性を活かした地域の人たちとの交流、育児相談・助言・援助などが期待される。		